



大きくなって帰ってきてね！！

田子小学校 マダイ放流

第二次臨時交付金額決定 2～3

決算を認定 6～7

一般質問 11～17

議会の動き 18～21

8月28日、田子小学校1、2年生がマダイ放流を行いました。

議会だよりは、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。

第二次臨時交付金

開催期間	9月1日から9月11日まで
審議した案件	町長提出議案 16件 諮問2件 議員提出議案2件
可決した主な議案	(町) 田子安良里線法面改修工事請負契約 津波防災ステーション工事(安良里地区) 請負契約 潮騒ギャラリー館条例改正 手数料徴収条例改正 林産物等販売施設等条例改正 一般会計補正予算(第6号) 水道事業会計補正予算(第1号) についてなど

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算 (第6号)

(賛成7：反対1)

主な歳出は、医療機関支援給付金1172万3千円、柞宜畑倉見線の林道施設原状復旧工事4650万円、浜川河川災害復旧工事2600万円などで合わせて2億1345万円7千円を一般会計に増額します。

街灯関係料金地区負担金

114万5千円の収入減少

問 街灯料金の地区負担を無くすことは歓迎するが、各地区と協定書は作成したのか。

答 各地区からの要望を受け、街灯電気料金は町負担にしました。

新設は地区負担との確認書を取り交わしました。

医療機関支援給付金

1172万3千円

(西伊豆健育会病院へ)

問 コロナ禍の影響は、先が見えない状況である。

支援要請が2回3回ときたらどうするのか。

答 小さな自治体が支援を続けるのは無理がありますので、国県に支援していただきたいです。

今回はコロナの影響で支援しましたが、今後はなかなかできないと考えます。

問 支援をするについては経営改善策を示してもらおう考えはないか。

答 今回はコロナの影響です

ので必要ないと考えます。

下田メディカルセンター

負担金 154万2千円

問 事業内容は。

答 コロナ対策としてサーモグラフィー検温装置、短時間で検査ができる抗原検査機器を導入します。

問 負担割合は。

答 管理者である賀茂郡下の6市町首長会議で均等割と決まりました。

森林施設現状復旧工事

4650万円全額町負担

問 治山ダムを有効活用するための土砂取除きとガードレールの修理は、災害復旧工事なので補助対象にならないか。

額決定

◎第2次新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は2億7371万1千円に決定。

主な使い道は

- 営業自粛協力給付金1億8491万2千円（既に支給済み、財政調整基金から臨時交付金への財源切り替えのため。）
- 観光誘客支援事業7000万円（宿泊予約者クーポン配布3770万円、バイシズオカ・バイヤマナシ富士山キャンペーン2230万円、団体旅行キャッシュバック1000万円）
- 医療機関支援事業1172万3千円。

答 治山ダムは県の施設ですが、その土砂を取り除く許可が出ませんでしたので、補助対象とはなりません。

地域おこし協力隊

企業支援補助金 100万円

問 事業内容は。

答 退任した方が民家をリフォームし、シェアハウスを運営したいとの申し出がありましたので、国の地域おこし協力隊推進要綱に基づいて支援します。

誘客多角化実証事業

交付金 1998万4千円

問 事業内容は。

答 観光庁の交付金事業で、これまでに西伊豆町でのドラマ、旅番組、情報番組などで紹介された飲食店。アクティビティなどの魅力マップ作製、ドラマ等の追体験ツーリズム。映画撮影地にパネル設置。

これらにより、誘客できるか実証実験するものです。

反対 はんばた市場関連の予算が含まれる当予算には反対。

国民健康保険特別会計 補正予算 (第2号) (全員賛成)

出産育児一時金対象者が増加したこと、新型コロナウイルス感染症の影響による収入が減少した、被保険者の保険税減免による還付金などにより590万円を増額補正します。

過年度還付金 506万円

(コロナ減免による還付金)

問 コロナによる減免対象者はいるのか。

答 現在対象者はいませんが、広報などにより、これから出てくると思います。

初めての事業で前年実績がないため、該当するであろう被保険者の所得を勘案し、還付金の予算を計上しました。

後期高齢者医療特別会計 補正予算 (第1号) (全員賛成)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の保険税減免による還付を行うなどに450万円を増額補正します。

後期高齢者医療特別会計 補正予算 (第1号) (全員賛成)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の保険税減免による還付と、前年度事業確定により地域支援事業で返還金の発生などにより523万1千円を増額補正します。

水道事業会計補正予算 補正予算 (第1号) (全員賛成)

人事異動及び会計年度任用職員のパートタイムからフルタイムへの変更に伴う人件費の増額分498万3千円を増額補正します。

一般職給料 244万8千円

問 職員の人事異動により、一般職の給料が増えているが、職員が減員になった部署への対応は。

答 10月1日付けの職員募集を行い採用予定者には既に通知を出しております。

これにより部署の補充をしていきたいと考えています。

(町) 田子安良里線法面工事着工へ

(町) 田子安良里線法面
改修工事請負契約の締結
(全員賛成)

契約相手 国本組有限会社

契約金額 5126万円

工事費負担割合

国55% 町45%

平成30年9月10日集中豪雨で哆胡神社向いの法面のモルタルが崩落しました。

地山を高強度ネットしやまで補強し752㎡をモルタル吹付と落石防止のネットを2重にかけ改修工事します。

問 住民の生活道路、園・学校の通園通学路となっている道路である。

もっと早く着工できなかったのか。

答 町単費でやれば昨年度にできたかもしれませんが、少しでも町の財政負担を軽減するため、国の防災・安全対策交付金事業の予算を取りながらやっているの、今年度事業になりました。

問 工事中の安全対策案が示されていないが。

答 工事期間中は全面通行止めとし、路線バスは海岸通りの通行となります。

問 工事場所の近くに伊豆海認定こども園がある。

保護者は工事期間、騒音

などに不安を感じているが、対策は。

答 教育委員会と連携して、そのような弊害がないように進めていきます。

問 地質状態と対策は。

答 下層から中層にかけては安山岩で、風化が進んでおらず非常に硬い状態です。

中層から上部にかけては同じ安山岩ですが、風化が進んでいますので、しっかりと覆う工事を行います。

問 今回の入札では予定価格を下回っているのは1社だけであり、工事費の落札率が予定価格に対して99.06%と非常に高いことについてどのように考えているか。

答 設計がしっかりしているので落札率が100%に近いのではないかと思います。

津波防災ステーション工事(安良里地区)請負契約の締結(賛成7:反対1)

契約相手 岩城商会株式会社

契約金額 5720万円

工事費負担割合

国50% 県40% 町10%

浦上水門、宮川水門の遠隔操作化に伴い電気設備及びコントロール盤の改修4基、陸閘全閉検出装置工事7基、電気ケーブル3159.6m、光ケーブル1723.4mの配線工事をします。

問 信号線の光ケーブルの耐震性は。

答 防護管に守られています。

問 ケーブルの配線工事は実質的には町内の業者がやっている。

町内の業者に分割発注する考えはないか。



哆胡神社向いの(町) 田子安良里線法面改修工事

潮騒ギャラリー館を民間へ貸し出し

答 分割発注では諸経費が高くなるので、今回は考えませんでした。地元業者で可能であれば今後協議したいと思います。

問 安良里地区での主な残工事は。

答 坂本2号陸閘の自動化と陸閘にカメラを設置し制御所から映像を見ながら制御できるようにするなどです。

潮騒ギャラリー館条例の一部を改正
(全員賛成)

西伊豆町の関係人口の増加を目的として、潮騒ギャラリー館を民間事業者へ貸し出しを可能にするための条例改正です。

異なる職業や仕事を持った人たちが同じ場に集まり、作業場をシェアする形を目指します。

問 借りる民間事業者は何をやるのか。

答 東京の会社の何社かがコアワーキングスペースとして、ワンフロアで机、椅子を共用しながら仕事をすることを目指しています。

問 自治会などへの有料の貸し出しはあるのか。

答 今後は自治会などへの貸

し出しはしないことを前提に進めていきます。

今まで銀鱗を利用の方へは、公民館など他の場所の提供を考えています。

林産物等販売施設等条例の一部を改正
(全員賛成)

「牧場の家」の付随施設の「事務所兼倉庫」を有効活用するために条例から外し、施設の貸し出しを可能とするもので、西天城高原のキャンプ場及び付随する施設の解体に伴い条文から削除するなどです。

宇久須地区で林業者に事業拡大のため「事務所兼倉庫」として借し出します。

問 大城の林産物販売施設の現況と今後の運営管理は。

答 10年程は販売業務は行っておらず、トイレを使用するくらいです。

管理は大城地区にお願いしていますが、今後については地区と取り壊しも含めて協議していきます。

手数料徴収条例の一部を改正
(全員賛成)

国の法律が改正され、令和

2年に個人番号の通知カードが廃止されたことにより、西伊豆町手数料徴収条例を一部改正します。

条文の「個人番号の通知カードの再交付1枚につき500円」の削除などです。

人権擁護委員候補者の推薦(2名)
(全員賛成)

前任者の任期満了に伴い、金刺貴彦氏を人権擁護委員の適任と認めました。



金刺貴彦氏(中在住)

前任者の任期満了に伴い、山本昭代氏を人権擁護委員の適任と認めました。



山本昭代氏(仁科在住)

令和元年度

一般会計
特別会計
企業会計

決算を認定

一般会計の決算は、実質収支2億239万9000円の黒字です。

歳入は、町税や地方交付税・町債の減はあるものの、国庫支出金やふるさと応援寄付金・財政調整基金繰入金の増などにより前年度に比べて増加し、総額77億8287万943円となりました。

歳出は、健幸づくり事業や住宅・店舗リフォーム等補助金・プレミアム付き商品券事業・津波避難タワー等整備事業・小型動力ポンプ付積載車購入などが実施され、総額74億5444万845円となりました。

令和元年度の歳入歳出差し引き額は、3億2843万8587円となりました。

一般会計 (賛成7：反対1)

問 起業促進事業で、起業に向けての心構えやノウハウ、移住・定住の経験者談などの講義を実施したが、参加者と成果は。

答 参加者は地域おこし協力隊・地元農業者、漁業者・将来西伊豆町に移住したい

と考えている方など、延べ216人が参加しました。

2年度に退任した地域おこし協力隊3人の内2人が西伊豆町で起業、1人が会社務めとなっています。

問 選挙区の統合について大沢里区長・町内会長と意見交換を行った内容は。

答 選挙投票時に、移動投票所・移動支援なども含め、

大沢里地区の投票所の統合ができないか協議をしています。

問 住宅・店舗リフォーム等促進事業で、約780万円の補助額だが、全体事業費は。

答 約5000万円です。

問 役場本庁舎の耐浪調査の結果は。

答 津波が直接ぶつかる場合の調査で、耐浪なしと判断されました。

問 具体的には崩れて流されるのか。

答 数値的に耐えられないということで、流されるかの判断はできません。

問 旧田子中学校で行った、町内留学生事業の内容は。

答 ALT 3人による授業で、外国の文化を学ぶ機会や英語力向上を目的に、中学生10人が参加しました。



安全・安心の地域づくり

2億 239 万 9000 円(一般会計) 実質収支黒字

国民健康保険特別会計 (全員賛成)

問 保険税の収納状況で、滞納額の収納率が平成30年度に比較して低いが。

答 仕事を辞めたことや仕事減による収入減、生活困窮者の方などが増えたためです。

問 医療費通知は受診者の負担になっていないか。

答 通知は、多受診予防やどの位の医療費がかかっているのか自覚してもらう目的で行っています。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)

問 被保険者は年々減っているが、保険料収入が増えている要因は。

答 被保険者が負担する均等割りが、世代間の負担公平の観点から、低所得者の負担軽減措置が低くなるように改正されたためです。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)

問 健幸づくり事業が盛んに行われているが、継続のための対策は。

答 健幸マイレージ事業との一体化や地区ごとの核となるリーダーを養成し、地域主体の活動につなげていきたいです。

問 介護認定の認定有効期限が1年間から2年に延長となったが、内容は。

答 国の方針により更新申請が延長となったものです。

新規に年度途中で申請する方は従来と変わりません。

問 認定を受けている方が、体調の変化などで審査を受けたい場合は。

答 認定変更の対象者として、年度途中で変更申請が受けられます。

水道事業会計 (全員賛成)

問 水道事業の民間業者への仕事量が少ない。

施設の維持管理を民間に委託することは出来ないか。

答 経費削減、スリム化を考えると民間委託しなければ経営が困難になるかもしれませんが、現在は職員で対応できているので、委託は考えていません。

温泉事業会計 (全員賛成)

問 温泉施設は津波浸水区域にあるが、今後の施設計画は。

答 施設を浸水区域外への移設はできないので、現在策定中の経営戦略の中で耐震化について検討していきます。



現在は職員で対応

監査委員からの提言

令和元年度 監査委員意見（抜粋）

監査委員 山本 豊・高橋敬治

審査の結果

決算係数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており誤りのないものと認められた。



指 摘 事 項

各課共通

(1) 補助金交付申請について

県の補助金を活用して行う事業について、補助金の申請手続きを怠った事例があった。

補助金の交付事務手続きはしっかり行えるように、事務管理を徹底すること。

窓口税務課

(1) 欠損処分について

欠損処分の事務手続きが3月30日の起案で決裁と施行が同日に行われている。

欠損処分は、調停での減額処理に匹敵するため、年度内に施行されなければならない。

国・県に意見書を提出

国に提出

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財源の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

(抜粋)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方財源確保の実現を強く求める。

静岡県に提出

「森の力再生事業」の継続、そしてこの事業推進のために「森林（もり）づくり県民税」課税期間の延長に関する意見書

(抜粋)

賀茂地区では、これまで14年間で1309haの森林整備を行っています。西伊豆町でも278haの森林整備を行なうことができました。

しかし、まだまだ荒廃した森林が多くあります。近年の多発する集中豪雨等による山腹崩壊の危険性が高まる中「森の再生事業」の必要性が求められています。よって、県は、「森の力再生事業」の継続、「森林（もり）づくり県民税」の課税期間の延長を強く要望する。

第3回臨時会 令和2年7月13日

一般会計補正予算 (第5号)

(賛成8：反対1)

新型コロナウイルス感染症対策の経済対策支援事業や、住宅・店舗リフォーム等補助金などに1億5305万円を増額するものです。

問 CHIICAカード代1億5077万5千円の内容は。

答 国が行う事業のマイナポイント事業・サンセットコインチャージ料と、観光誘客支援事業などです。

問 財源は。

答 マイナポイント事業補助金2500万円と町民のマイナポイントチャージ料1億300万円が主です。

問 住宅・店舗リフォーム等補助金が増額されるが、事業効果は。

答 昨年の実績で、約5000万円の事業が実施され、今年度も増加しています。

地元中小企業者の事業支援に貢献していると考えます。

問 会計年度任用職員の現場作業員が、8月からパートタイムからフルタイムの雇用となる。

支所・出張所の会計年度任用職員をフルタイム雇用

とし、窓口業務時間を5時までとするべきでは。

答 検討します。

反対 議案の中には、1000万円をかけ町内4カ所で、花火を打ち上げる計画がある。

花火を打ち上げれば、ソーシャルディスタンス(社会的距離)は守られないし、3密も避けられない。

地域によっては鑑賞することのできない地域もある。

政治は万民に公平でなければならぬ。

今は、花火など打ち上げている場合ではない。

花火を打ち上げるお金があるなら、医療機関を援助するとか、西伊豆町経済の礎である観光業者（観光）に利用してもらうとか、色々の使い道があるはずだ。

行政として、もう少し思慮深くコロナ後のニューノーマル(新しい日常)を予想し、しっかりとした舵取りをすべきで、反対。

財産の取得

(全員賛成)

西伊豆町消防団第5分団の消防ポンプ自動車を2035万円で更新をします。

国民健康保険税条例の一部改正

(全員賛成)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における国民健康保険税の減免の特例です。

問 減免分の財源は。

答 全額国からの補填です。

介護保険条例の一部改正

(全員賛成)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる場合等における保険料の減免の特例です。

問 減免分の財源は。

答 全額国からの補填です。



昨年の堂ヶ島火祭り

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	堤 豊	山 本 智 之	芹 澤 孝	高 橋 敬 治	加 藤 勇	山 田 厚 司	西 島 繁 樹	堤 和 夫	山 本 榮	増 山 勇	議決結果
第3回臨時会	財産の取得 [消防ポンプ自動車 1台購入]	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険条例の一部を改正	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第5号) [1億5305万円を増額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
6月定例会	防災・安全交付金事業(町)田子安良里線法面改修工事請負契約の締結 [契約金額5126万円]	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	農山漁村地域整備交付金 津波防災ステーション工事(安良里地区)請負契約の締結 [契約金額5720万円]	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	×	可決
	潮騒ギャラリー館条例の一部を改正	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	手数料徴収条例の一部を改正	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	林産物等販売施設等条例の一部を改正	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	一般会計補正予算(第6号) [2億1345万7000円を増額するもの]	×	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号) [590万円を増額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [450万円を増額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	介護保険事業特別会計補正予算(第1号) [523万1000円を増額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	水道事業会計補正予算(第1号) [支出を498万3000円減額するもの]	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決
	元年度 一般会計決算認定	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	×	承認
	元年度 国民健康保険特別会計決算認定	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	承認
	元年度 後期高齢者医療特別会計決算認定	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	承認
	元年度 介護保険事業特別会計決算認定	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	承認
元年度 水道事業会計決算認定	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	承認	
元年度 温泉事業会計決算認定	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	承認	
人権擁護委員候補者の推薦(2名)	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	適任	
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決	
森の力再生事業の継続、そしてこの事業推進のために「森林(もり)づくり県民税」課税期間の延長に関する意見書	○	—	○	○	○	○	○	欠	○	○	可決	

議長(山本智之)は採決に加わりません。

安良里地区の避難所整備は

(町長) 整備は行えない



加藤 勇 議員

質問 安良里地区の高齢化率は、町全体の49.9%に比較して61.6%と高く、高齢の方々が多く暮らしている。

その多くが、津波浸水想定区域内に住居を構えており、大規模災害時には避難所での生活が必要となる。

地区には消防団詰所2階に48名が収容可能な部屋が整備されているが、これ以外に避難生活が可能な公共施設がない。

避難所整備の必要性は。

町長 避難場所は各地区に必要と考えますが、国が示す公共施設の人口一人当たりの床面積の割合により、西伊豆町では多すぎるとの判定をされており減らすよう指導されていますので、整備は行えません。

質問 避難生活ができる公共施設は、賀茂小学校・賀茂中学校が想定されるが、安良里地区住民が避難できる教室などを、事前に決めておくことはできないか。

町長 被害状況がわからな

ければ収容すべき全体像がわからないので、事前の告知は難しいです。

質問 認定こども園の建設予定地として仁科地区の「牛置」や「先川」への案が示されたことは、従来、検討を進めていた小中一貫校との同一敷地内での建設構想から外れるものと考えているか。

町長 8月11日の議会全員協議会で「先川」案で概ね理解が得られているものと考えています。

質問 安良里地区に認定こども園が建設できれば、避難所としての活用も可能となるか。

る。

平成30年8月に検討されていた「安良里地区に用地を取得し、新設統合する(案)」の復活は。

町長 以前に、安良里中田避難地案を保護者の方々に提案しましたが、緊急時に他地区へお迎えに行くことや、平時でも近くにいるほうが安心などの意見がありました。

安良里地区建設案は、平成30年度に却下されていますので、復活には無理があります。



避難所不足だが！！



無断で伐採されたと訴えが (町長) 申請書類の再確認をします

高橋 敬治 議員

質問 ある林業事業体の森林経営計画で、森林所有者から、委託していない森林を無断で伐採されたとの訴えがあるが。

町長 承知しています。申請時の書類は問題なかったと思いますが、再確認します。

質問 この経営計画は未達成の可能性が高いが。

町長 最低間伐面積を施業するように指導します。

質問 この事業体は松崎町岩科財産区有林の誤伐採、仁科地区国有林事業での指名停止など問題が多い。

既に支払われている交付金や補助金にも影響を及ぼす可能性があるのでは。

町長 県と相談します。

質問 町有林(81林班)の経営計画の施業予定は。

町長 間伐可能な面積が少なく、施業計画はありません。

質問 民間の模範となるべき町の経営計画を途中で終わらせるのか。

町長 事業体に相談し、継続が可能なら計画します。

町有林 39 林班の施業は 隣接地施業者と共同計画

質問 町有林(39林班)を今年度に施業する理由は。

町長 隣接地施業者と共同計画なら施業し易いからです。

質問 入札だと共同計画にならない可能性もあるが。

町長 今回は共同計画でも随意契約ではなく入札です。

今後はプロポーザル方式などで、広域・集約化によるコストダウンが可能な共同計画や多年契約が可能な環境づくりをしたいです。

倒木予防に環境譲与税を 災害防止にも活用したい

質問 人家や道路付近で倒木の恐れのある樹木伐採に、森林環境譲与税の活用は。

町長 災害防止や重要インフラに近いところには活用していきたいです。

現在、「停電予防伐採」を県・東電と検討中です。

質問 「ヒューマンヴィラ伊豆」へ行く町道大沢里線周辺の森林整備への活用は。

町長 保安林も含まれているので県に相談します。



「ヒューマンヴィラ伊豆」へ行くための唯一の幹線道路

子どもの受動喫煙防止対策は (町長) 最大限に取り組んでいます



山田 厚司 議員

質問 受動喫煙による健康被害が注意喚起されるなか、子どもの受動喫煙防止に特化した対策は。

町長 家庭内での対応は判りませんが、受動喫煙は従前より減っていると思います。がんの原因をタバコの煙に限定するなら、販売する側の問題もあります。

教育もしており、最大限に取り組んでいます。

質問 県内すべての小学5年生に配布した「防煙下敷き」はどの様に活用したか。

教育長 使い方は把握していませんが、配布はしました。

質問 国の行う「希望の虹プロジェクト」で全国の小学校に教育教材を無償提供しているが、活用は。

町長 寄贈の確認は取れていませんが、送られてくれば教育の参考にします。

質問 啓発活動の推進は。

町長 ふるさと祭りのPRブースで検討したいです。

質問 「健幸マイレージ事業」のポイントアップをして、

がん検診無料化や受診率向上につなげては。

町長 健康づくりの一環でポイントを付与するもので、無料化策ではありません。

質問 「健康づくり推進協議会」の中でがん関連も協議して対策につなげては。

町長 健康計画策定時など不定期の協議会でしたが、今後は定期的に開催し、情報交換の場や、健康対策に結びつけていきたいです。

新型コロナ検査体制拡充は

だ液PCR検査と抗原検査

質問 だ液PCR検査の導入や検査センター開設の報道があったが、最終的な検査体制拡充と住民への案内は。

町長 案内は「静岡県帰国者・接触者相談センター」にて24時間受け付ける相談内容などをチラシ・広報紙で行う予定で、検査はかかりつけ医の判断で、だ液PCR検査が可能となり、また新規の抗原定量検査体制も準備しています。

質問 かかりつけ医との連携体制を密にしては。

町長 町内、賀茂圏域内でも常日頃から連携しています。



2人に1人はがんに！！早期発見のためがん検診を！！



堤 豊 議員

財政調整基金の増減は

(町長) 実質増減はない

質問 新型コロナウイルス感染症対策費の拡大で、県内の自治体の貯金に当たる「財政調整基金」が急減しており35市町も、それぞれの基金を大幅に取り崩し、19年度末比、4割近く減少したとの報道がある。

当町では、7月末現在で財政調整基金は、総額約24億4千万円、内6億円は債券投資運用、残りの約18億4千万円は貯金に当たる資金であるが、前年同月に比し増減は。

町長 基金残高は、前年同月比、約4億円の減少で、森林整備資金に1億円、公共施設等総合管理基金に約3億円振り替えました。

6億円の債券投資運用の借替はありましたが、減少はしていません。

質問 コロナの第2派、第3派が懸念されている。

日本各地で被害が出ている豪雨や台風災害にも対応していかなければならない。

不急な事業に対しては、事業の見直しが必要と考えるが。

町長 見直しは考えていません。

質問 花火大会の支出について「医療機関を援助するとか、観光業者に利用してもらおう。」とか、色々な使い道があったとの意見があった。

町長 完全に公平でなかったかもしれませんが、最善をつくしました。

文教施設整備事業について

最終は議会が、決定する

質問 文教施設等整備委員会、PTA、学校関係者、行政の意見を聴取し、準備されていると思うが区長への説明、意見聴取は。

町長 委員会ほかで聴取し、反映されています。

質問 人口減少、経済環境も悪化しており、計画の進捗見直しの考えは。

町長 津波対策も含め、一日も早く、スムーズな建設をしていきたいです。

質問 文教施設整備事業の最終決定は、町長がするのか。

町長 議会が決定することだと考えます。



津波対策を含めた小・中学校の建設

斎場建設の総事業費は

(町長) 総額6億5000万円程度



増山 勇 議員

質問 新斎場の建設状況と今後の予定は。

町長 地元住民説明会を開催し、予定地のボーリング調査が現在行われており、結果は、9月末に出ます。

建設可能であれば、再度地元説明会を行ない、全町民への説明会も予定しています。

質問 総事業費は。

町長 現在の斎場解体も含めて総額6億5000万円程度を考えています。

質問 詳細設計の作成時期は。

町長 建設場所の住民理解を得てからになり、慎重に進めたいと考えています。

予算は、今年度中にできれば進めて行きたいと考えます。

質問 完成するのに3年間ぐらいかかると担当課は説明しているが、早くできないか。

町長 予定地が建設可能となっても、議会の議決などで、3年ぐらいは必要と考えています。

松崎町との協議は

建設可能なら、これから

質問 建設にあたり、国・県の補助金は。

町長 現在はありません。

質問 過疎債の適用があると思うが。

町長 できるだけ過疎債の適用となるように、国に申請していきます。

質問 建設にするのに、共同使用している松崎町と協議する考えは。

町長 正式な協議は、していません。

質問 両町とも、過疎債が適用できるので、早めの協議をすることが必要では。

町長 建設可能になれば、正式な協議を始めていきます。西伊豆町の状況は、その都度報告しています。

質問 検討委員会には諮問・答申の関係がなく、町長の考えが重要だ。

30年来の要望で、是非、前にすすめるべきだ。

町長 以前より進んだのではないかと考えます。



早期建設を



可能な限り多くの避難所開設は

(町長) ホテル・旅館・公共施設の利用を

西島 繁樹 議員

質問 コロナ禍の災害時に、可能な限り多くの避難所の開設は。

町長 ホテル・旅館は予約で無理な場合もあるので、公共施設を活用します。

質問 可能な場合は親せきや知人の家などへの避難を検討するよう周知すべきだが。

町長 広報などで、機会あるごとに、お願いしています。

質問 発熱・咳などの症状が出た避難者の病院移送が難しい場合の対応は。

町長 隔離した部屋を用意します。

学校の ICT 環境の整備は

していきます

質問 教育分野において「3密」を防ぎながら、切れ目のない学習環境の提供については、オンライン学習のための端末や機器の整備など、児童・生徒や教員が学校・自宅で使う ICT 環境の整備は急務と考えるが。

町長 児童・生徒数が少ないので、通常でも3密になりにくい環境ですが、必要なところから整備していきます。

移住や企業誘致の促進は

進めていきたい

質問 移住や企業誘致を促進するため、空き家を活用したワーキングスペース、住宅の整備などを通じ、誰もが住み続けられる町づくりを実現すべきと考えるが。

町長 サテライトオフィスも含め、進めていきたいです。

生活現場での感染拡大防止の取り組みは 必要なところから

質問 新たな日常の構築に向け、さまざまな生活現場で感染拡大を防ぐ取り組みについては、例えば、多くの人が集まる場所の水道やトイレ、ゴミ箱などに、手を触れずに済ませることができる自動化の推進などがある。

生活上のリスクを下げるための推進は。

町長 適宜、必要なところから進めたいです。



事前の訓練が大切

費用の比較ができていない

(町長) 経費削減できると考えます



芹澤 孝 議員

質問 認定こども園の候補地変更案が追加費用問題から出てきたのに、候補地の造成工事費の比較ができていない状況で、決めたいとするのは拙速ではないか。

町長 先川は、津波浸水想定区域外なので、盛り土の必要はありませんが、仁科川が越水する可能性がゼロではありませんので、1mぐらいのかさ上げが必要です。

工法は、追加の杭を打つ必要がないと考えています。

先川の地質は液状化があるかもしれませんが多額の杭を打つ必要がないので経費削減できると考えます。

3.5 m以上の盛り土が必要

1m かさ上げでのみこむ

質問 今回示された、認定こども園の建設候補地である、先川（仁科地区）は、洪水浸水想定3.2m～3.5mの場所である。

認定こども園の安全を担保して、施設を存続させる

ためには、3.5m以上の盛り土が必要ではないか。

町長 数値としてはあるのかもしれませんが、現実的には狭く急峻で雨が降っても、1時間もすれば水が捌ける土地でそのようなことが発生するとは想定できません。

仮に、越水し仁科川が崩壊しても、1mのかさ上げをすれば、この平地はのみこむことができると考えます。

その根拠は、どこにあるかは後程調べて示したいと考えています。

臨時交付金は、非接触体温計などにも使うべき 打てる手は打っています

質問 コロナ対策臨時交付金は、避難所の非接触体温計・簡易ベッドなどの拡充。福祉施設、介護事業者へ防護服・マスク・消毒薬・非接触体温計。医療機関、飲食店、宿泊施設に、非接触体温計・マスク・消毒薬の支給にも使うべきではないか。

町長 必要であれば体温計などに使うのは可能ですし、現在打てる手は色々打っています。



認定こども園の造成費用を比較しないで候補地変更か！

議会の動き

第1 常任委員会報告

6月18日に総務課・会計課、7月9日に窓口税務課の所管事務調査を実施しました。

総務課

新型コロナウイルス感染症対策関連事業、本年度以降実施・計画される大規模事業の財源状況について。

令和元年度末決算の基金の状況

大規模事業などに使える基金は（令和元年度末）

財政調整基金	24億4130万円
公共施設等総合管理基金	10億5493万円
ふるさと応援基金	15億1205万円
西伊豆町振興基金	10億 81万円
その他特定目的基金（10基金）	4億3457万円

の総額64億4366万円となっています。

新型コロナウイルス関連事業

令和元年度

観光協会運営費補助 3500万円

令和2年度

サンセットコイン事業	1億1684万円
営業自粛協力給付金	2億3000万円
特別定額給付金事業	7億6880万円
観光誘客支援事業交付金	7000万円
その他、5事業	4653万円

の12億6717万円の執行となっています。

財源内訳は

国庫支出金	8億5066万円
県支出金	4800万円
一般財源	3億6851万円（財政調整基金）

となっています。

大規模事業の財源計画 （令和2年から7年度の6年間）

多額の事業費が想定されている事業は、文教施設等整備事業・斎場建設事業・津波避難施設等整備事業・道路施設長寿命化事業・クリーンセンター焼却炉維持です。

6年間で想定される事業費と財源内訳は

総事業費 88億5090万円

財源内訳は

補助金	17億8410万円
地方債	34億7480万円（借入金）
基金	28億4690万円
一般財源	7億4510万円となっています。

事業実施による、地方債残高と償還金シミュレーションでは、償還のピークは令和11年度で、約6億円の償還金（元金のみで利息は別途必要）になります。

人口が減少し、予算規模も縮小する中で、現在と同等以上の返済が必要となり、大規模事業以外の町単独事業の執行が難しくなります。

◎大規模事業の執行と、財政状況について、より一層注視する必要性を感じました。



安良里地区津波避難タワー建設中

会計課

債券運用について

財政調整基金の運用による受取利息の増額を目的に、平成30年7月より債券購入による運用を開始しています。

債券は、東京電力パワーグリッド社債（電力債）を3つに分けて購入し、合計6億円を証券会社に運用委託しています。

運用利回り（平均）は、1.178%で、年間7070万円の利子収入となり、自主財源としての活用ができます。

◎低金利が続くと言われている時期の運用としては、有利な運用であると理解しました。

窓口税務課

新型コロナウイルス感染症対策等による税収の見通しについて

税目には、町民税・固定資産税・軽自動車税・町たばこ税・鉱産税・入湯税があります。

税収の減額要因としては

- 営業・外出等の自粛による収入減少による個人住民税の減少
- 事業収入減少による法人住民税の減少
- 固定資産税の中小企業者等への減免措置による減少
- 観光客減による町たばこ税の減少
- 営業・外出等の自粛による宿泊客減少による入湯税の減少です。

令和2年度の総収入予定額は約7億8200万円ですが、約1億100万円（12.9%）の減収が想定されます。

◎1日も早い新型コロナウイルスの終息と、観光客の来町が待たれます。

窓口業務実態について

宇久須支所・安良里出張所は4月1日より、受付業務は職員から会計年度任用職員（パートタイマー）となりました。

戸籍事務・住民票事務・印鑑証明事務が本庁と田子出張所の事務となりましたが、会計年度任用職員で対応不足の業務はアイパッド（TV電話）を活用し、直接お客様と本庁とで対応しています。

受付時間は午前9時から午後4時となりましたが、不在時には庁内在住職員が対応し、お客様への支障はないことを確認しました。



お客様に支障のない対応を

マイナンバーカードについて

令和2年5月31日現在の交付状況は県内順位1位で、人口7954人に対し、交付数2128枚、交付率26.75%となっています。

静岡県内の平均交付率は15.49%です。

6月28日現在では、交付数2322枚、交付率29.2%となっています。

◎マイナンバーカードなどの取得促進のため、理解しやすい広報の必要性を提言しました。

第1 常任委員長 加藤 勇

第 2 常 任 委 員 会 報 告

7月8日に企業課、7月10日にまちづくり課の所管事務調査を実施しました。

企業課

水道事業

水道施設の更新及び耐震化・災害対策と危機管理体制

①施設の計画的な整備

安心で安定的な水道を未来につなぐため、水道施設を適切に管理するとともに、老朽化した施設の更新及び耐震化を図っています。

②施設の定期的な点検整備

予防保全による延命化に努めています。

③更新費用の低減

省エネルギー機器の導入と合わせ、ランニングコストの低減に努めています。

④送配水施設耐震化計画

上水道の送配水施設を令和5年から11年かけ、耐震化率を現状28%から将来89%を目指しています。

管路の計画的な整備

上水道は、主な水源が仁科にあり、仁科地区→堂ヶ島地区→田子地区へ送水しております。地震時にこれらの送水管が断水してしまうため、耐震化が必要で、検討中です。



断水を防ぐためにも耐震化を

温泉事業

コロナの影響による利用料金減免について

①休業要請に応じた事業者への対応

温泉料金が定額制となっているホテル（3施設）の4、5月分の70%を補助しました。

②利用料金納入期限猶予

個別対応しました。
督促手数料は無料としました。

今後の課題

老朽化した温泉管の更新、料金改正などの課題があります。

水道事業は命に直結する大切なものです。

温泉事業も含めた長期計画を着実に実行していくこと、料金改正などの課題解決が行われることを注視していきます。

コロナに負けない体制づくりを目指しましょう。

第2常任委員長 堤 豊



人口減少などで課題検討

観光推進体制について

バイシズオカ、バイヤマナシ富士山キャンペーン事業の支援内容

- 観光誘客支援事業7000万円。
バイシズオカ、バイヤマナシ富士山キャンペーンに2230万円を予算計上したとの説明を受けました。

コロナ対応及び誘客対策について

- 感染症予防における行動指針
商工会、観光協会、堂ヶ島温泉旅館組合協力のもと、外出時の行動基準が配布されました。「マスクの着用」「咳エチケット」「消毒スプレー」「3密を避ける」「人と人との距離を保つ」「不要不急の外出をひかえる」などのチラシを町民に配布し、注意喚起をしました。

はんばた市場の状況について

- 令和2年5月22日～7月5日までの売上は平日は10万円から20万円、土日は20万円から30万円との説明がありました。
- コロナの影響があり、土産品の売上は当初計画より低く推移しています。
- 売店に来客用のトイレはないが、特に苦情はなく、公衆トイレへ誘導しているとのこと。



はんばた市場の売上高向上を期待

ふるさと納税寄付金について

令和2年3月末までの実績

約11億9400万円、件数10万3706件でした。
特に11月、12月は金額、件数とも年間の50%以上を占めています。

令和2年4月以降の寄付金推移

4月 約1億100万円
5月 約8000万円
6月 約7800万円

寄付金の使い道実績（令和元年度）

産業観光	約1億5300万円
教育文化	約1100万円
健康福祉	約3400万円
防災、ICT	約5000万円
その他	約400万円
合計	約2億5200万円

ふるさと納税の寄付を事業活用させていただいています。

津波避難タワー、子育て支援、高齢者の交通費の助成などがあります。

感謝の気持ちを大切に。

第2常任委員長 堤 豊



沿岸部へ津波避難タワーの建設



子育て支援センターの遊具購入



夕陽ビュースポットの維持補修



高齢者の健“幸”づくり事業

ふるさと納税寄付金の有効活用

まら自慢の一品

西伊豆町の誇る自慢品をご紹介します。今回は「アロエ」です。

アロエ

すっと伸びた花茎に朱色の花、海の青さに映えるその姿、西伊豆の冬を彩るアロエのお話です。医者いらずといわれるアロエは、健康食品や美容液の原料になります。静岡県が日本一の栽培地で、大半を伊豆西南海岸産が占めます。数十年前、仁科の民宿のご主人が、葉を細かく刻み天日干し、



乾燥葉にして軟膏の原料としたのが、アロエ産業の始まりです。今では年間400tほどの生葉が乾燥葉や搾り汁に加工、出荷されています。栽培は容易ではなく、重要な成分であるアロインやアロエニンを多く含ませるには、水はけや土壌中塩分濃度、日照、気温などの条件が整うことが必要で、この地は最適です。現在、町内で6haほど栽培されていますが、需要に供給が追いつかない状態だそうです。耕作放棄地をアロエ畑に替えるなどの工夫をしています。ただ、質の良い葉を収穫するために、花は咲かせません。あの美しい朱赤の花が見られません。残念！！



町内探訪 36

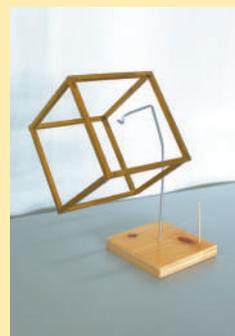
蓮文化研究会会員
日本水琴窟フォーラム会員
日本松葉蘭会会員



竹内政治さん
(仁科在住)



安城公園の水琴窟



テンセグリティ構造

「1人勝手に町おこし活動」
を自負し活躍する竹内政治
さんにお話を伺いました。

質問 これまでの主な活動は。
竹内さん お試し住宅での蓮
や古代植物の松葉蘭の普
及、安城公園内で、地上式
では日本一の大きさとなる
庭園技法の音文化である水

琴窟を整備しました。

質問 現在行っている活動は。
竹内さん 「空海27歳の修行」
という記事がきっかけとな
り、町史にある「弘法の水」
の探索をしています。

質問 現況はどうですか。
竹内さん 海名野地区の山奥
にある史跡「海名野の一杯
水」を確認できました。

質問 今後の活動などは。
竹内さん 「海名野の一杯水」
は崖下30mにあり、道を整
備し古道を活かせればと思
います。また最近ではテンセ
グリティ構造にも興味がで
き、日々楽しいです。

[取材 山田厚司・増山勇]

令和2年10月15日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、
お気軽にお聞かせください。TEL: 52-1962